

令和6年度

第3回特別支援学級運営充実推進委員会

令和6年度特別支援学級に関する アンケートの結果報告

児童生徒・保護者用

回答期間と対象について

回答期間

令和6年12月9日（月）～令和7年1月31日（金）

対象の児童生徒（保護者）

668名

回答数・・・・・・・・273件

回答率・・・・・・・・40.8%

児童生徒・
保護者用

アンケート結果について

調査結果

※別紙参照

令和6年度特別支援学級に関するアンケート（児童生徒・保護者用）					【別紙2】	
					(%)	
質問項目	とてもあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない		
児童生徒用	1. 授業では、「わかった」「できた」と思うことが多くある。	32.2	55.6	8.4	3.8	
	2. 先生は、あなたの得意なことや苦手なことを知っている。	48.7	37.2	11.5	2.7	
	3. 特別支援学級で、学習や活動するのは楽しい。	64	28	4.6	3.4	
	4. 交流学級で、学習や活動するのは楽しい。	54.2	31.9	10	3.8	
	5. 校長先生や教頭先生は教室の様子を見に来てくれる。	42.8	41.2	10.3	5.8	
保護者用	6. 学校は、お子さんの得意なことや苦手なこと等を理解した対応をしている。	54	37.6	6.5	1.9	
	7. 学校は、家庭でできるようになったことや家庭での支援方法を指導や支援に取り入れている。	40.3	44.1	12.5	3	
	8. 家庭は、学校で身についたことを生活に取り入れている。	29.8	57.3	11.1	1.9	
	9. お子さんに関する心配事や悩み事を気軽に相談できるなど、学校と家庭は、互いに相談しやすい関係を築けている。	55.3	33.3	8.6	2.7	
	10. おさんは、交流学級の授業や活動に参加することに意欲的である。	55.7	29.2	9.8	4.5	
	11. 学校は、お子さんの良いところや頑張りを認めたり褒めたりしている。	71.6	21.2	6.1	1.1	
自由記述（御意見・御要望等）（※一部抜粋）						
・毎日楽しく学校に通えています。先生方、お友達周りの環境がとても良いです。						
・発達障がいを理解していたり理解しようとする努力をされている先生とそうでない先生の差がはげしいので、特別支援学級を担当するしないに関わらず子供たちの特性を知って欲しい。						
・特性を理解してくれていないと思うことがある。保護者の熱量と、教諭の熱量が違うことが多く、保護者の困り感や心配が伝わっていないように感じることもある。						
・特別支援学級は本人にとって居心地の良い居場所になっており、特別支援学級での活動を楽しんでいる。こども園の時は話ができる友達もいなかったが、特別支援学級での活動を通して、仲の良い友達もでき、楽しく学校へ通えている。以前と比べると話ができるクラスイトも増え、授業での発表もできているみたいなので、特別支援学級に通わせて良かったと思っている。						
・支援学級の先生はとても熱心に指導してくださったり気にかけてくださったりしていますが、交流学級の先生はやはり面倒なのだなと感じることが多く面倒をかけて申し訳ない気持ちがあります。						
・インクルーシブ教育という言葉をよく聞きます。こちらの取り組みはどのようにお考えなのか聞いてみたいです。						
・いつも気にかけてサポートをしてもらえて助かっています。こちらの要望への返答や対応が予想以上に早くてビックリするくらいです。右難いです。						

児童生徒・
保護者用